

6月1日（月）

本日より全学年で分散登校を始めました。これまで、週に2、3日の登校日を設けていましたが、6月1日（月）～6月12日（金）までは、全学年が各クラスで午前と午後に分かれて登校します。初日の今日は、昨年度よりも登校時間を遅く設定しているため、少し早く学校に到着している児童がいました。本年度からの登校時間は8時25分～35分ですので、もう一度時間の確認をして安全に登校するようにしてください。

大阪市では新型コロナウィルス感染症の感染リスクが下がったことを受け、「学校園における新型コロナウィルス感染症対策マニュアル 第3版」にそって学校再開を段階的に進めていきます。これまでの生活と同じように過ごしていくことは現時点では難しく、国が示している「新しい生活様式」へ変えていく必要があります。

児童の様子を見ていますと、「石けんでの手洗い」、「マスクの着用」などは随分定着してきていますが、今後、特に気を付けてほしいことが3つあります。

1つ目は、「身体的距離の確保（できるだけ2m程度、最低1m）」です。仲が良いほど近くで話すことになりますので、休み時間の過ごし方や放課後の過ごし方などを分かりやすく示して、意識できるようにしていきます。

2つ目は、「自分自身の体や心の変化への意識」です。体温を測って自分の体調を確認することや、体の不調をきちんと周りの人に伝えることが重要です。学校でも、我慢するのではなく、少しでもしんどく感じたり、心配なことがあったりするときは遠慮なく誰かに相談するよう担任から話していきます。

3つ目は、「誰もが新型コロナウィルスに感染する可能性があるという認識」です。これまで感染予防についての意識を高めることに重点を置いた取組をしてきましたが、「新しい生活様式」へ変わっていきますと、誰もが感染する可能性があり、自分の意志とは関係なく感染することがあるということを常に考えておくということです。

残念なことに、北九州市の小学校では集団感染が起こってしまい、学校は臨時休校となりました。子どもたちは、大阪市の子どもたちと同じようにがんばって感染予防をしていたと思います。私たちが気を付けたいことは「自分は感染しない」、「感染した人が気を付けていなかっただけだ」などと考えてしまわないことです。感染した人が近くにいたり、自分であったりした場合のことを考えて、どのようにすればよいかを考えておくことが大切です。新しい感染者を出さないように原因を調べることはもちろん大切なことですが、「感染してしまった人の回復を祈ることや励ますこと」、「感染した人の治療に当たっている医療従事者の方へ感謝の気持ちや応援する気持ちを伝えること」、「感染した人が回復して学校へ復帰するときに一緒に喜ぶこと」など他人事ではなく自分事として考えて行動できるようになってほしいと思います。

今日は、今年度初めての給食もいただきました。午前と午後の分散登校になりましたが、給食調理員の皆さんのが調理を2回に分けて行っていただいたおかげで、午後の子どもたちも温かいミートスパゲティを美味しく食べることができました。

お二人の管理作業員さんや生活指導支援員、こども生活・まなびサポーターの皆さんは、地域の見守り隊の方と一緒に登下校の安全を見守ってくれていました。

子どもたちは、これから毎日登校することになりますが、教職員はもとより、保護者や地域の皆様とともに、子どもが安心して安全に学校生活を送ることができるよう努力してまいります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。